



令和7年1月17日(金)発行

校長 栗原 友恵

北九州市小倉北区昭和町16番1号

HP: www.kita9.ed.jp/nakashima-e/

TEL: (093) 921-1690

<学校教育目標>

体・徳・知 調和のとれた心身ともに健康な子どもの育成

<目指す子ども像>

- 相手の立場に立って考える思いやりのある子ども
- すすんで学び、自ら考え、表現する子ども
- 元気に学び、すすんで運動に取り組む子ども

<目指す学校像>

- 安全な学校 ○温かい学校
- 笑顔があふれる学校
- 「中島小大好き」と言える学校
- 成長(学習)し続ける学校
- 保護者・地域・関係機関と連携する学校

2025年「成人の日」と「成人式」

お子さんと一緒にお読みください。

毎年1月の第2月曜日は「成人の日」です。成人の日は、「おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝い励ます」という趣旨の国民の祝日です。2025年の「成人の日」は1月13日(月)でした。子どもたちにとって成人の日が、おとなについて知り、大きくなることへの憧れの気持ちを育む、そんな機会になればいいなと思います。そこで、その由来などをまとめてみました。

成人式の由来は？

成人式は、奈良時代に起こった「元服(げんぷく)」に由来しています。「元服」の「元」は首(頭)、「服」は着用という意味で、公家や武家において、成人男子の通過儀礼として頭や服を改めました。男子は、数え年で12歳~16歳ぐらいで「元服」の儀式を行い、髪を結い、服を改め、公家では冠、武家では烏帽子を着用しました。また、幼名から実名を名のるようにもなりました。

女子の場合は、13歳ぐらいで「髪上げ」「装着(もぎ)」の儀式が行われ、髪を結って裳(も)髷を着用するようになりました。また、江戸時代以降は、女性が結婚をして丸髷(まるまげ)を結い、地味な着物に改め、眉を剃り、お歯黒をしたりすることを「元服」と呼ぶようになりました。

日本で成人が20歳から18歳になったのはいつ？

日本の成人(成年年齢)が20歳とされてきたのは、明治29年に制定された民法によるものです。他の国では18歳が主流です。日本でも2022年4月1日から18歳に引き下げられました。

成人式の時期については法律による決まりはありませんが、18歳の1月は、受験や就職活動で大変な時期である等の事情から、多くの自治体では2023年以降も20歳の方を対象として式典を行っています。北九州市も1月12日(日)に「二十歳の記念式典」を実施しました。

成人になるのは、同学年でも一緒じゃなかった？

現在は1月第2月曜日が成人の日ですが、2000年にハッピーマンデー制度で改定される前は1月15日でした。これは昭和24年(1949年)に制定されました。

1月15日は「小正月」にあたり、かつて小正月に元服が行われていたからだと言われています。

北九州市では、「成人の日」対象者は昭和47年まで、前年の1月16日からその年の1月15日までに20歳を迎える「年齢方式」が採用されていましたが、昭和48年に調整し、昭和49年以降は「学齢方式」が採用されて、同学年同士で成人式に参加できるようになりました。よかったですね。

保護者アンケートのご協力ありがとうございました！

大変お忙しい中、12月の保護者アンケートにご回答いただき、ありがとうございました。アンケート結果や記述していただいたご意見等を、今後の学校運営に生かしてまいりたいと思います。また、今後ともご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

	質問項目	保護者		児童	
		7月	12月	7月	12月
1	お子さんは、自分から進んで学習し、テストやノートなどから学習内容が理解できていると思う。	68	66		
2	お子さんは、学習意欲が高まっていると思う。	62	58		
3	お子さんは、学年の目安となる時間、家庭学習(宿題を含む)に取り組んでいる。	66	62	82	87
4	お子さんは、学校や家庭のきまりを守っている。	84	79	91	93
5	お子さんは、自分にはよいところがあると思っている。	84	81	91	91
6	お子さんは、楽しく学校に通っている。	87	81	94	93
7	お子さんは、進んで挨拶をする。	73	81	91	94
8	お子さんは、場に応じた(丁寧で優しい)言葉遣いをすることができる。	83	79	92	96
9	お子さんは、進んで運動を行い、体力がついてきている。	71	67	84	82
10	万が一に備え、お子さんとは、「自分の身は自分で守る」ことや万が一の避難先など、安全面について話し合っている。	76	72	96	97
11	お子さんは、学校や生活などで、自分の目標や将来の夢をもって頑張っている。	66	69	86	85
12	学校には、お子さんのことを相談しやすいと感じる。	82	78		
13	家庭では、携帯電話やスマートフォンの使用、ゲームで遊ぶときのきまりを作り、フィルタリングなどもしている。	67	60		
14	学校や学級からのいろいろなおたよりや通信などで、学校や学級の様子が分かる。	90	89		
15	授業では、1時間ごとの振り返りや単元ごとの振り返りを行っていますか。			92	92
16	授業では、自分で取り組むことができているですか。			95	91
17	授業では、自分の考えを書いて(説明して)いますか。			76	77
18	授業では、話し合う活動等を通して、自分の考えを広げたり深めたりすることができていますか。			84	83
19	友達や先生の話最後まで「目・耳・心」で聞いていますか。			97	97
20	たてわり活動などで、他の学年の人と仲よくできましたか。			94	93
21	先生は、授業やテストで間違えたところや分からないところについて、分かるまで教えてくださいますか。			94	94
22	中学校生活で、不安なことはありますか。(6年生のみ)			19	19

※ 表の数値は、「十分(そう思う)」「おおむね十分(まあまあそう思う)」が占める割合(%)を表しています。